



たかずやの里通信

令和6年度 - 第1号 -

…発行日…
令和6年6月1日
…発行人…

児童養護施設 たかずやの里

伊那市東春近7000-8
TEL 0265-72-6456
FAX 0265-72-7607
ホームページ
QRコード ⇒



URL www.janis.or.jp/users/takazuya03/

今年度もたかずやの里を

よろしくお願いいたします。

4月になり入所児童はそれぞれ保育園や学校で進級・進学し、職員も新任3名が加わり新たな年度を迎えました。今年度もたかずやの里をよろしくお願いいたします。

お花見をしました

4月6日、お花見をしました。数日前から前日まで天候が不安定で、予定していた富県のふれあいの森から、施設の庭にある桜の木の下に会場を変更しました。各ユニットで用意した思い思いのお弁当を持ち寄り、きれいに咲いた桜を眺めながらおいしくいただくことができました。お花見が始まる時間近くになってからは天気も良くなったこともあり、楽しくお花見をすることができました。



最後のじゃがいも作り

今まで使わせていただいていた畑の場所は今後工業団地となるため、今年がじゃがいも作りの最後の年となりました。

幼児さんから高校生までみんな参加してくれました。子どもたちが“うね”の真真中に種芋を手で置いていき、「早く大きくなあれ!」と自分の手や小さいスコップで土をかけてくれました。豊作になることを願っています。



調理職員が鯉のぼりのおやつを作りました。寄付でいただいた中力粉を使った鯉のぼりのクッキーを乗せた可愛い手作りプリンに子どもたちも大喜びでした♪

こどもの日デザート



- 施設の変化 -

児童養護施設は国の施策により「小規模化」を推進しています。「小規模化」とは施設本体の縮小ではなく、一緒に生活をする子どもの数を減らすことです。今は8人で生活していますが、令和7年からは6人と決められています。

その意味は子ども一人ひとりに職員によるケアを入りやすくし、養育環境の充実を図るためです。今でも一つの家(ユニット)ごとに生活をし、5ユニットでそれぞれの生活をしています。これを7ユニットにする予定です。

このような状態ですから、たかずやの里全体が一堂に会する機会は年に数回です。そんな貴重な機会となったのが、お花見でした。敷地内にある桜が見頃となり、その下に各ユニットで作ったお弁当を持ち寄りました。

みんなでお話をしながらの会食で、和やかな良いひと時でした。ユニットごとの生活の充実を図ると同時に、たかずやの里全体のまとまりも求めていきたいと思っております。

施設長 菅 雄峰



たかずやの日々



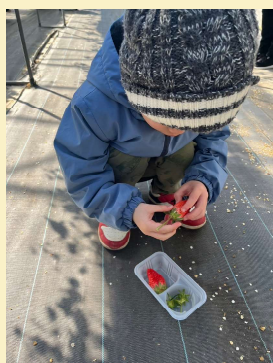
退園式

たかずやの里では3月20日、退園式を行いました。この春高校を卒業して巣立つ子を、一緒に暮らした子どもたち・役員の方々・職員と一緒に送り出す式です。たかずやの里で過ごした思い出をかみしめながら、涙で感謝の気持ちを伝えてくれた退園生。これからもいろいろなことがあると思うけれど、たかずやの里は実家でもあるので疲れたらホッとしに来てほしいな。幸せを願います。



幼児ユニットの行事の様子

3月2日にみはらしファームでいちご狩りをしてきました。甘くて大きないちごに大興奮の子どもたち！赤いいちごを選ぶんだよ〜と教えて、とても上手に収穫して食べることができました！お腹がいっぱいだけど、いちごを見るとまだまだ食べたい…。そんな子どもたちでした。

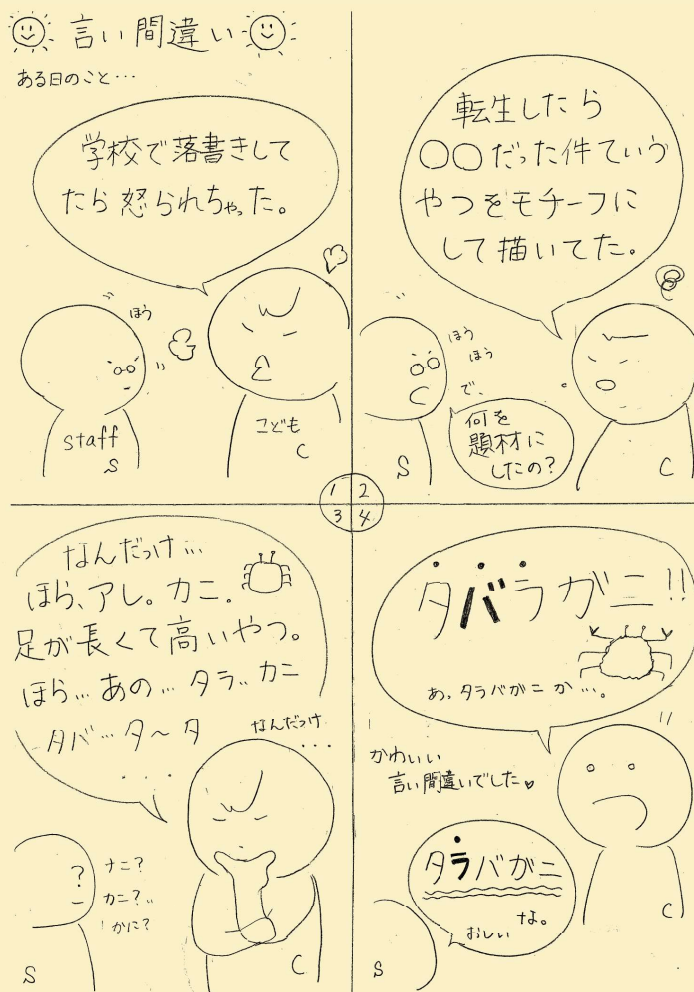


生け花

たかずやの里の正面玄関から入ると最初に目に入る生け花。学習ボランティアで来ていただいている春日先生がご厚意で生けてくださり、玄関先が華やかになっています。



ほのぼの★中学生



施設紹介動画をご覧ください。

<https://takazuyananosato.wixsite.com/recruit/施設紹介動画>

QRコード ⇒



里親制度について ~里親認定と子どもを迎えるまでの流れ~

①相談

児童相談所などに相談をします。
里親の条件や手続、研修などの説明などを受けます。

②研修・登録

里親に関する研修を受け、児童養護施設や乳児院で子どもたちと関わる実習をします。
その後、県の審査を経て里親として登録をします。

③こどもとの交流

里子となる、こどもと面会や外出、宿泊などで交流をします。
里親、里子共に調和性を確認します。

④迎え入れ

こどもを家庭に迎え入れます。